



奈良県感染症情報

令和 8 年 第 29 週(7 月 13 日～ 7 月 19 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健環境研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

手足口病 警報発令中！

今週の概要

- サルモネラ感染症について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	12.50	(14.83)	↑	↑	↗	↑↑
2	感染性胃腸炎	6.04	(6.63)	→	→	↘	↑↑
3	ヘルパンギーナ	3.46	(3.88)	↑	↑	↑	↑↑
4	A群溶連菌咽頭炎	3.42	(3.08)	→	→	→	↑
5	新型コロナウイルス感染症	2.40	(1.79)	↑↑	↑	↑↑	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

第 29 週の手足口病の定点当たり報告数は 12.50 と、前週(14.83)からは減少しましたが、3 週連続で警報発令中であり、依然として高い値で推移しています。全国の第 28 週の定点当たり報告数は 9.12 で、全国的にも手足口病が流行している状況です。引き続き、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐の適切な処理など、感染対策をお願いします。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 6.04 と、前週(6.63)と同水準でした。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は 3.46 と、前週(3.88)から減少しました。しかし、いまだ中和保健所管内西部地域(6.20)で警報レベル開始基準値「6」を超えています。引き続き、基本的な感染対策をお願いします。特に発症後 4 週間頃までは、便からウイルスが排泄されるため、おむつ交換の後にはしっかり手洗いすることを心がけましょう。

❖ サルモネラ感染症 ❖

サルモネラ感染症は、サルモネラ属菌に汚染された食品の摂取や菌を保有している動物との接触によって引き起こされる感染症で、細菌性食中毒の主な原因の一つです。この菌は自然界に広く生息し、37℃前後で活発に増殖します。また乾燥や低温に比較的強く、食品中などで長期間生存できる一方、熱に弱く十分な加熱で死滅します。厚生労働省の食中毒統計資料を見ると、7 月に最も多く発生し、6 月～10 月にかけて注意が必要とされています。奈良県でも昨年 8 月にサルモネラ属菌による食中毒が 1 件発生しました。

○症状

感染後、8～48 時間の潜伏期間を経て、悪心、嘔吐、腹痛、下痢などの急性胃腸炎の症状を呈し、38℃以上の高熱をきたすこともあります。症状がなくても菌を保有している場合があり、感染を広げる原因となることがあります。また抵抗力の弱い小児や高齢者では重症化しやすい傾向にあり、特に注意が必要です。

○原因

非加熱または加熱不十分の卵や鶏肉、その加工品の摂取が主な原因となっています。さらに、これらの食材の取り扱いが不適切だったことにより調理器具や手指が汚染され、二次汚染を引き起こすことがあります。

○予防

①肉や卵は冷蔵庫で保存し、十分に加熱(中心温度が 75℃以上で1分間以上)しましょう。卵を生食するときは新鮮で殻にヒビがないものにしましょう。②生肉や卵を扱った手指や調理器具は十分に洗浄・消毒しましょう。③動物に触れた手指からも感染します。手洗いを徹底しましょう。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

保健所別報告数	奈良県	北部	中部	南部
	奈良市	郡山	中和(東)	吉野
インフルエンザ	42	11	9	4
インフルエンザ	15 (0.36)		1 (0.11)	13 (1.44)
新型コロナウイルス感染症	101 (2.40)	14 (1.27)	12 (1.33)	38 (4.22)
小児科定点数	24	6	5	2
RSウイルス感染症	1 (0.04)	1 (0.17)		
咽頭結膜熱	16 (0.67)	4 (0.67)	2 (0.40)	5 (0.83)
A群溶連菌咽頭炎	82 (3.42)	27 (4.50)	13 (2.60)	28 (5.60)
感染性胃腸炎	145 (6.04)	31 (5.17)	41 (8.20)	50 (10.00)
水痘	10 (0.42)	6 (1.00)	2 (0.40)	2 (0.40)
手足口病	300 (12.50)	46 (7.67)	81 (16.20)	97 (16.17)
伝染性紅斑	1 (0.04)	1 (0.17)		
突発性発しん	14 (0.58)	2 (0.33)	4 (0.80)	6 (1.20)
ヘルパンギーナ	83 (3.46)	15 (2.50)	29 (5.80)	31 (6.20)
流行性耳下腺炎	1 (0.04)			1 (0.20)
眼科定点数	10	3	3	0
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎	4 (0.40)	2 (0.67)	2 (1.00)	
基幹定点数	6	7	7	7
細菌性髄膜炎				
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)	
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)		3 (1.50)	3 (3.00)
クラミジア肺炎				
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)				

令和 8 年 第 29 週 7 月 13 日 ~ 7 月 19 日

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市1、郡山2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(奈良市3)
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1件(中和1)
5類感染症	梅毒2件(奈良市1、郡山1) 百日咳1件(奈良市1)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	4	新型コロナウイルス感染症	7
---------	---	--------------	---

❖ 急性呼吸器感染症(ARI) ❖

保健所別 報告数	奈良県	北部	中部	南部
	奈良市	郡山	中和(東)	吉野
定点数	42	11	9	4
急性呼吸器 感染症	1692 (40.29)	298 (27.09)	262 (29.11)	540 (60.00)
年齢別				
年齢	0歳	1~4	5~9	10~14
男	59	412	184	61
女	61	394	130	51

❖ 第29週のトピックス ❖

夏の感染症対策(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kansentaisaku_summer.html

上段:報告数 / 下段:定点当たり報告数 報告数÷定点数

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女			1	1	1	1	1	1	1			1		1	1	2					5	5805
新型コロナウイルス感染症	男女	2	2	2	5	1	3	4	2	3	4	3	14	3			2	1			1	50	430
RSウイルス感染症	男女	1	2	2	3	5	1	5	2	2	4	8			2	4	2	2	1	2	1	51	503
咽頭結膜熱	男女			1	2	3	2	2							1							11	191
A群溶連菌咽頭炎	男女			5	2	4	8	6	3	6	5	1	5		1							46	1258
感染性胃腸炎	男女		9	16	11	12	4	6	2	5	6	1	8									80	2530
水痘	男女		1	1						2		1	2									7	112
手足口病	男女	1	23	67	39	10	9	6	3	4	1		1									164	702
伝染性紅斑	男女												1									1	18
突発性発しん	男女		4	4	1	1																10	140
ヘルパンギーナ	男女		3	16	12	8		3			1	2										45	163
流行性耳下腺炎	男女		1	11	7	7		6			3		1									38	148
細菌性髄膜炎	男女																					1	13
無菌性髄膜炎	男女																						
マイコプラズマ肺炎	男女			1																		1	23
クラミジア肺炎	男女			4	1																	5	25
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

R8
 R7
 R6
 過去10年平均

